

# 行田市子ども医療費支給条例の一部を 改正する条例など23議案を可決・認定・承認・同意



9月定例会初日開会の様子

9月定例会には、市長提出議案21件、議員提出議案3件が提出され、継続審査とされた1議案を除く23議案を可決・認定・承認・同意としました。

主な議案の内容と採決の結果は次のとおりです。

## 市長提出議案

### 条例 通院支給 対象の拡大

○行田市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例（原案可決）

子ども医療費助成事業は、これまで通院に関しては中学校就学前までの子どもを持つ保護者を対象に医療費を支給してきた。今般の市民、団体及び議会の要望を踏まえ、通院支給の対象を15歳に達する日以後の3月31日までに拡大しようとするもの。経済的な負担軽減とともに子どもの保健の向上を図るため条例の一部を改正するものです。

○行田市国民健康保険条例の一部を改正する条例（原案可決）

政令の改正に伴い、国民健康保険税の基礎賦課限度額を3万円、後期高齢者支援金等賦課限度額を1万円引き上げるため条例の一部を改正するものです。

○行田市火災予防条例の一部を改正する条例（原案可決）

法令の改正に伴い規定の整備を行うとともに、カラオケボックス等個室店舗の避難管理について新たに規定する

ため、条例の一部を改正するものです。

### 人事案件

行田市教育委員会委員、保泉欣嗣氏の任期が、平成22年9月30日をもって満了するため市長から新たに鹿山高彦氏の任命につき同意を求められ、これに同意しました。

### 決算 9会計の 決算を認定

平成21年度一般会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会による閉会中の継続審査とし、残る水道事業会計並びに国民健康保険事業、老人保健事業、介護保険事業、交通災害共済事業、長野土地区画整理事業、下水道事業、南河原地区簡易水道事業の特別会計の歳入歳出決算は、所管の常任委員会で審査を行い、9会計の決算が認定されました。

補正予算 補正総額2億 6200万円余り

○平成22年度行田市一般会計

### 補正予算（原案可決）

当初予算に計上した各種施策を効率的に推進するため、事業の見直しを行い、その所要経費について補正を行うものです。歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億6267万5000円を追加し、予算総額を244億454万6000円とするものです。

歳出の主な内容として、総務費では庁舎耐震補強事業の着手経費、南大通線の全線開通に伴う市内循環バスの新路線追加経費。民生費では赤ちゃんの駅整備経費、保育所や学童保育室へ感染症予防のためのオゾン発生機等の設備経費等。衛生費では不燃ごみの回収回数を週1回から2回に拡大するための経費。農業費では麦や野菜など戦略作物の生産拡大に向けた助成費。そのほか、土木費では道路・河川の維持補修及び新設改良、道路の経年劣化を把握する道路パトロール経費等です。

### 議員提出議案

#### 条例 議員定数を削減

○行田市議会議員定数条例の一部を改正する条例（原案可